

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田収 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷株式会社

8月例会報告

(担当/げんこつ委員会)

平成11年8月20日ホテルサンルート米子に於いて8月例会が行われた。網領唱和の後、堀田会長が挨拶され、7月の25周年事業・トライアスロンボランティアそして県総会への参加のお礼を言われた。さらに今回の出席者出席率について述べられ3桁の参加を常に願っていることを強調された。1月に1回はみんなの顔が見たいこと、言葉を借りて、より一層の意識改革を要望された。

また、家庭を大切に活動していただきたいとも強調された。引き続き新入会員のバッジ授与式が行われた。今回は初めての女性会員ということで、会長も緊張の面持ちであった。

そして、その後委員会タイムとなり、湯原会員より平成12年4月1日から実施される『介護保険制度』について発表された。今回の例会は、げんこつ委員会の担当で行われた。



演題 『最近の治安情勢について』
講師 鳥取県米子警察署長 井田 安昭先生

講演要旨

まずは、鳥取県警察の仕組みをはじめ日本の警察制度の歴史及び現在の組織について判りやすく説明をいただいた。

そして、最近の米子管内の事件、5月31日に発生した郵便局連続強盗事件、7月22日の中国人集団密入国事件と事例をもとに報告があった。

さらには、我々親が一番気になる子供の非行についての現状と防止する方法を指導いただいた。子供の数は少なくなっているのになぜ非行が多いのかとの疑問に対して子供を補導した結果として、そういう子供の共通点は①自制心の弱さ②道徳心の不足(モラルの低下)③他人に対する思いやりの不足...などがあげられる。

保護者とは言う①警察にもこずに、ただ「弁償すればいいではないか」と言う。「仕事が忙しいので取りにはいけない」と言う。「子供の勝手にするように」と言う。…投げやりの態度。②「友人に誘われたのだから自分の子供は悪くない」と言う。…他人のせいにする態度。こう言う事態になったのはなぜか、いろいろ考えられるのだが、結論は親と子の絆が弱くなったからである。なぜこういう世の中になったのか。原因は、例として親子一緒に食事をしなくなった。会話が少なくなった。物ばかり与えて、コミュニケーションがなくなってしまった。道徳的なことをまったく教えなくなった。子供たちが外で遊ばなくなった。など、昔のことと対比させるとよく判ることである。非行に結びつく原因は、親も子も一緒である。常識の足りない親があまりにも多いこと。自分勝手な親が多いこと。もう一度改めて考え直さないともっとひどい世の中になってしまう。今の子供が親になり、その親がまた子供を作り、…どんな世の中になるか容易に想像できるはずである。今できることは、親が子供をしっかりと見てやることであり、コミュニケーションを取ることであり、そして強い絆で結ばれる(維ぐ)ことである。



去る8月22日(日)、快晴の天候の下、東部青年中央会主催による『第6回湖山池手作り段ボールカヌー大会』が湖山池ボートコースにて開催され、わが西部(つなぐ)号は宮廻直前会長を団長に、武海章、中島正博、後藤公平、山城克己の各会員が参加した。

大会長挨拶、選手宣誓をうけて、9時30分から競技が開始された。創意と工夫に富んだ51艇ものカヌーが17のブロックにわかれて、およそ100メートル先のゴールを目指してタイムレースを行うというもので、中には本場に段ボールでできているのかと疑いたくなるほど安定した走りを披露するカヌーがあるかとおもえば、レース途中に船体が折れて沈んでしまうカヌー、必死で前に進もうとしているにもかかわらずその場でクルクル回ってしまうカヌーと周囲を笑いの渦に巻き込む好レースが繰り広げられた。

真紅の船体の「西部維(つなぐ)号」は、11時50分、第16レースに登場。中島、後藤両会員が乗船。同レースには東部青年中央会の「ヨロシク三役号」と「東部創造号」、中部青年中央会の「中部提案号」も出場するとあって応援にも自然と熱が入り、武海応援団長の「立派に沈んでこい!」のエールを背にスタートした。レースは快調に逃げる「東部創造号」を「西部維(つなぐ)号」が追い掛ける展開となったが、結局1分51秒42の2着でゴール。ゴール後2人は、後藤を拜した責任とあまりにも真剣にやりすぎて周囲の期待(?)に応えられなかった責任を取る形で立派に湖山池にダイブ。全体での成績としては完走42艇中32位、ちなみ



に1位は33秒99という驚異的なタイムであった。あいだに大声コンテストをはじめ、12時30分からは10枚の発砲スチロールの浮き島を因幡の白兎よろしく渡っていく『跳んで渡って1万円』というサブイベントが催され、宮廻直前会長が参加。エイトマンばりの快走が見られると期待して、エイトマンのテーマを口ずさんで声援を送ったが、3枚目でバランスを崩し、頭から水中に消えていかれた。でも、水中から顔を出された直後の少年のような笑顔は「おいしかったかな?」と訴えておられたような気がした。

参加者全員が童心に返って楽しめたカヌー大会であったが、この大会の本来の目的は「湖山池という地域資源の見直しとPRを行い、自然と人間との関わりを考え、自然環境の保護育成に役立てる」ことにある。湖山池長者伝説で知られる湖山池は昭和40年以降、人工の集中化・生活文化の向上に伴い水質汚濁が顕在化し、現在もそれは解消には至っていない。東部青年中央会では本大会の運営を通じて、「清湖・湖山池」を取り戻すために『美しい湖山池は、みんなの宝』を合言葉に、関係住民、事業者への啓蒙運動を展開されている。

わたしたち西部圏域ではどうだろうか。まさに中海の水質汚濁という身近な問題があり、湖山池の水質問題は対岸の火事などではなく、個人・地域・行政のレベルでどう中海の水質改善に取り組むべきかの問題提起をしてくれた大変ありがたいものであった。ゴミ問題を含め、西部青年中央会でも一度取り上げてよいテーマだとおもった。もし、以前に取り上げられていたとしても再度検討してみてもよいのではないだろうか?



連絡事項

祝開店 中原・久野会員の店
BU: ZU (ブーズ) 7/24より営業中
西倉吉町きよのビル3F(可夢土下座あと) TEL 31-8198

9月例会案内

と き 平成11年9月16日(木) 18時30分~
と ころ 米子国際ホテル
講 師 米子市市民環境部清掃課 庶務係長 中田雄二氏
演 題 「容器包装リサイクル法による消費者・市町村・事業者の役割」
担 当 21地球委員会

9月役員会報告

9月定例役員会が平成11年9月1日(水)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。
(1) 9、10月例会開催の件
(2) 中小企業全国大会参加の件
(3) その他
※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

編集後記

この頃、朝夕めっきり涼しくなりました。バタバタした夏も終わり、この秋はゆっくり過ごしたい...などと思いつつ、追われて後記を書いています。

8月例会の講演の中で、「文化が発達すれば、大人が幼稚になる」という一説がありました。確かにテレビに毒され私の幼稚化も進んでいる。反省。今年こそは絶対読書の秋にしたいと思います。(思っただけにならなければ良いが) 皆さんは、どのような秋にされますか。

聞いてごしない Part 13

近頃なんとなく山や畑に行く機会が増えているように思う。

山では竹の子掘り、畑では梅採りや草刈などを土・日曜日の天気の良い日に犬2匹と母親とで行く。普段は母一人で野菜などを作ったりしている。

一日中草刈りをする汗ダクダクとなるがなぜか心地良い疲れと爽快感があり飯もビールもうまい。犬も大喜びである。疲れた体や心を自然がいやしてくれるのだろうか。それとも子供の頃、川や山、田んぼで遊んだことを懐かしんでいるのだろうか。夏休みも終わろうとしているが最近ではこの田舎でも川や山で遊ぶ子供の姿を見かけない。私たちは自然と接する事で楽しさと同時に怖さや痛みを知ったようにも思う。

しかし今、その自然も機能を失いつつある。森林や水田を抱える中山間地域は過疎と高齢化が進み耕作放棄や山の荒廃が進んでいる。

日本列島を守ってくれているのは「緑のダム」といわれる森林や水田なのである。

自然環境保全のためには農業や林業が見直され、そしてそれは21世紀にとって重要な役割を果たすと思う。

子供と一緒に川、山、海で遊びましょう。

(アイムソーリー博多)

鳥取県大連訪問団参加報告

会長 堀田 収

平成11年8月3日から平成11年8月7日まで、4泊5日の日程で、鳥取県大連訪問団に参加した。

この訪問団は、平成11年4月に、日本貿易振興会大連事務所に、鳥取県との共同事務所として開設された鳥取経済交流部の開設を記念して、鳥取県より派遣されたもので、訪問団は片山鳥取県知事を団長として、行政、県議会や経済界から約40名で構成され、関係先の表敬訪問や現地の経済情勢を視察し、メイン行事である開設記念式典の「鳥取県交流の夕べ」に出席した。

また、黒見境港市長を団長とするポートセールス団も、同時期大連を訪問しており、鳥取県交流の夕べにて合流致した。



日本鳥取県 交流晩餐会

親子で燃えたチビトラ!

平成11年8月22日(日)、「第5回オールジャパンジュニアトライアスロンin岸本」大会が霊峰大山を望む岸本町大原の総合スポーツ公園において開催され、残暑の中、小学生を中心とする264人の選手達がA・B・C・Dの4クラスに分かれて鉄人レースに挑んだ。出場選手の大半は鳥取県勢であるが、県外からも東は三重県から西は宮崎県まで、8府県総勢50人近くの参加があった。

早朝は小雨がばらつきがずついていた空も、レース開始前には晴れ渡り、午前10時のコースコンディションが気温31℃、湿度53%、水温27.5℃と、ちびっ子達には少々つらい暑さとなった。この猛暑の中、選手達の表情は真剣そのもので、大人顔負けのデッドヒートを繰り広げる姿は何とも微笑ましい光景であった。



野球やサッカーなどの他の少年スポーツ同様、一生懸命なのは本人達よりもむしろその親達といった感じで、カメラやビデオを片手に沿道を右往左往し、ちびっ子達以上に熱い汗を流していた。

場外バトルは沿道だけにとどまらない。30度を超す猛暑に「無料配布」という甘い言葉も手伝って、かき氷売り場には長蛇の列(記者は食料部ボランティア・かき氷担当)。午前9時の開店からひとつの波が過ぎるまでに1時間半、煙草に火を点けた瞬間に押し寄せる人、人、人…。おかげで記者は今でも信号機を見る度に、メロン・レモン・イチゴのランダムな注文に悩まされている(診断の結果、かき氷症候群と判明)。

ともあれ、天候にも恵まれて全国最大級のジュニアの大会は無事終了した。今大会で頑張ったちびっ子の精鋭達の中から、将来は皆生で活躍する(変な意味ではなく)選手も生まれてくることであろう。記者も来年の夏には信号機からかき氷を連想する病気が完治し、またかき氷のテントで慌ただしい晩夏を過ごすのであろうか。



ご意見番コーナー

ご意見をどしどしお聞かせください

会長 堀田 収

先輩の皆様方、会員諸兄、関係諸団体のご尽力、ご協力によりまして、西部青年中央会は、25周年式典、並びに25周年事業を無事終わらせることができました。分科会発表会においては、これまでの活動を総括し、21世紀に向かっての方向性を見出す指針を得たような気がします。特に、F・V分科会では、これから青年中央会がどうあるべきか、また、どう活動すべきなのか、問題提起をいただきました。

今、我々中小企業を取り巻く経済環境は、大きな構造的変化に直面しています。中小企業の経営者は、大変難しい経営の舵取りを求められています。

青年中央会も、経済環境の変化の中で、最も適切で、会員に役に立つ活動が必要です。我々青年中央会自身、時代の流れの中で、改革した方がよいことは自己革新して、さらに会員の役に立ち、より地域社会に貢献できるよう、努力をしなければならぬと思います。

このコーナーでは、役員会で、今、議論しているホットな話題を、紙面を通じて紹介し、現役、OBの方々のご意見を広く頂き、役員会に反映させたいと願っています。

今回のテーマは、「青年中央会と選挙運動」です。議題としては、「本会は、特定の個人、又は法人、その他の団体の利益を目的とした活動をしなさい。」「特定の政党の利益の為に活動しない。」という意味合いの文面を定款に入れるかどうかです。

◎議論のポイント

- (1) 西部青年中央会として、選挙の度に、現役、OB、また、今まで関係のあった候補者多数に、推薦状を出している。
- (2) 一議席に対して、複数名に推薦状を出している。理論的に、矛盾していないか。
- (3) 毎回、役員会では、推薦状を出すにあたって、会をあげて候補者を応援するという事ではなく、推薦に値する立派な候補者であると認められるという意味であるとの申し合わせをしているが、これが対外的に通用するのか。
- (4) 複数名に推薦状を出しているが、選挙運動はあくまで個人の自由意志によるものであるため、結果として、候補者に対してアンバランスがある。
- (5) 本会として、政治にどう関わるべきか。

この課題に対しては、24期で議論を重ね、引き続き25期でも取り組んでいます。とてもデリケートな問題ではありますが、思い切った議論をオープンにしたいと思っています。現役、OBの方々には、賛成反対を問わず、また、別の切り口からのご意見でも結構ですので、どんどんご意見を寄せてください。頂いたご意見は、役員会で紹介させていただきます。事務局 FAX: 0859-34-6441

E M: tsc@sunmedia.or.jp ご意見番コーナーまで

8月度委員会報告

マネージメント委員会
平成11年8月6日(金) 於:米子食品会館 出席者/13名
内容/ 会則変更の件について討議、出席委員全員の意見とヒアリング勉強会

・講師 山根一朗氏(山陰合同銀行地域振興部課長代理)
・演題 「これからの企業マネージメントと銀行の役割」
・講演内容 M&Aのしくみと具体例について

ビジネス交流委員会
平成11年8月5日(木) 於:米子食品会館 出席者/11名
内容/ 委員会の年度間スケジュール、運営方法等を確認した。委員会メンバー企業の業種研究を中心に異業種への理解を深めていく事を確認した。また、役員会報告の選挙に対する推薦状の問題について、ビジネスと政治との関わりを前提に討議を交した。

政治行政委員会
平成11年8月10日(火) 於:ビッグシップ 出席者/12名
内容/ 湯原会員を講師にむかえ、県議会のようなす等を聞いた。今、地方自治体は、少子化等により、財政危機をむかえており、中央からも地域合併促進の指示がなされている。それにとまない我々地域住民の果たす役割等、考えが大きなファクターとなる。身近な事として鳥取環境大学、妻木晩田遺跡等の県の考え議会の方向性、湯原会員自身の考えについてもよくわかる内容であった。

げんこつ委員会
平成11年8月5日(木) 於:米子食品会館 出席者/11名
内容/ 8月担当例会・役割等の打ち合せ
・会則変更について、質疑
・委員会テーマについて

地域ビジョン委員会
平成11年8月6日(金) 於:ホームサムインかいけ 出席者/11名
内容/ 会員タイム

各会員の会社及仕事内容を紹介する時間を毎月2人程度で行うようにし、今月は委員長、副委員長であった。平成10年度、地域ビジョン委員会副委員長、足立徹会員に昨年度地域ビジョン委員会の活動内容について、お話をいただいた。昨年度は観光をテーマに、広域連携をどうしたら良いかを色々な講師を招かれて、勉強されたとの事。その中でも、米子、

松江、境港各観光協会の方を一同に交えての会合もあったとの事で連携について、話が出来大変良かったとの事。

21 地球委員会
平成11年8月5日(木) 於:岩崎館 出席者/12名
内容/ 役員会報告の後、9月担当例会の役割分担を行い、事前準備、当日作業についての打合せを行った。その後8月8日に行われる家族委員会についての確認をして委員会を終了した。

・家族委員会
8/8(日)午前11:00~午後1:30
皆生、海浜公園において会員家族20名で公園内の清掃を行ない、その後バーベキュー、スイカ割り、当てくじ等楽しく過ごす事が出来ました。
バーベキューの設営等、岩崎館皆様には大変御世話になりありがとうございました。
P.Sお父さんは疲れの色、奥様、子供さんは喜びの色

2020 グランドデザイン委員会
平成11年8月6日(金) 於:東亜青果(株)会議室 出席者/10名
内容/ 選挙の推薦依頼に対するの取扱いについてメンバー各々より意見を聞く。
・人生設計講座
【人間と植物】
【四つの自分】
2件についてディスカッション

広報委員会
平成11年8月3日(火) 於:米子空港ビル 出席者/14名
内容/ 新入会員、桶村清子会員の紹介
・ハンサムNo.144の編集打合せ。最後に協議事項の「選挙時の推薦状」について白熱した意見交換が行われた。
予定を若干オーバーして21時30分に閉会し、その後新入会員歓迎会を行った。

総務委員会
平成11年8月5日(木) 於:大連 出席者/14名
内容/ <景川OBを招き講演>
景川OBによる中央会とのかわり方をご自身の体験を元にユーマをまじえ、委員会メンバーとの対話方式で語って頂いた。その後、潮新入会員の歓迎会をかねて景川OBと共に懇親会を行った。

中央会ゴルフ同好会 第10回記念大会

中央会ゴルフ同好会の記念すべき第10回大会が、6月27日の日曜日に、木々の緑が鮮やかな朝日ゴルフクラブ大山コースにて盛大に開催された。当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、OB・現役会員あわせて24名もの参加をいただき、吹野正和同好会会長も挨拶の中でそのことを大変喜んでおられた。

さて、肝心のコンペはというと、降りしきる雨と風に翻弄され普段の実力が発揮できない会員の方が多かった中、景川恭次会員が我慢のゴルフを展開して見事優勝され、自らの手で卒会に花を添え、2位には倉敷裕史OB、3位にはベスグロの奥森隆夫会員がそれぞれ輝いた。

なお、19番ホールに関しては特集を組めるくらいの情報がありますが、文字数の都合上ならびに関係各方面に多大な影響があることを考慮して、断腸のおもひながら割愛させていただきます。ちなみに11回大会は9月に開催予定ですので、多数のご参加お待ちしております。



コピーをして名簿にお貼り下さい

(総務)

うしお くに あき
潮 邦 昭 O型 店長
(有)よしうら 飲食業
〒684-0006 境港市栄町96-2
TEL 44-7917 FAX 44-7917
(KT) (EM)

H 11.08 入会 (推薦者) 遠藤(健) 湯原(俊)
<自宅> 西白郡西白町大字猪小路409
〒683-0367 S36.5.11 TEL66-5282

<コメント>
皆さん、はじめまして(有)よしうらの潮邦昭です。昭和36年5月11日生。38歳。西白町出身です。勤務先は米子市角野町、マロンビル4F、スナックス、店長です。皆さん、遊びに来て下さい。
抱負といたしましては、早く青年中央会という組織に慣れ不良会員にならないよう、頑張りたいと思っておりますのでご指導よろしくお願い致します。

(広報)

おけ くら きよ こ
桶村 清子 B型
(有)金鶴冠婚プロデュース 企画課課長
冠婚葬祭業
〒683-0052 米子市博労町2-58
TEL 34-4444 FAX 34-7512
(KT) (EM)

H 11.08 入会 (推薦者) 土井(-) 野嶋(功)
<自宅> 米子市皆生温泉4丁目15-3-101
〒683-0001 S41.3.31 TEL 32-0266

<コメント>
この度、鳥取県青年中央会に入会させていただきました桶村清子と申します。会員の皆様と交流させていただき、自分自身を成長させたいと考えております。また、女性の特性を活かした行動を心がけてゆきたいと思っております。未熟でございますのでどうかご指導賜りますようお願いいたします。